

議会ガイド



10月4日

青森県立金木高等学校小泊分校

閉校記念碑除幕式

〈主な内容〉

- 第3回定例会…………… 2
- 一般質問
 - 塚本悦子議員…………… 5
 - 奈良清治議員…………… 6
 - 青山雅晴議員…………… 8
 - 川山光則議員…………… 9
 - 荒関富雄議員…………… 10
- 委員会だより…………… 12
- 議会の動き…………… 12



平成十九年

第三回定例会

平成十九年第三回中泊町議会議定例会が九月四日招集される。



野上 議長

第三日目（九月六日）

議案熟考のため休会

第四日目（九月七日）

本会議

一般質問に、塚本悦子議員、奈良清治議員、青山雅晴議員、川山光則議員、荒閑富雄議員が登壇。

第五日目（九月八日）

議案熟考のため休会

第六日目（九月九日）

議案熟考のため休会

第七日目（九月十日）

決算特別委員会

本会議
議員二十名出席のもとに開会。会議録署名議員に青山雅晴議員、奈良清治議員を指名、会期を九日間と決めた後、十九議案、報告二件を一括上程し、町長から提案理由の説明後、各常任委員会に付託された陳情の審査結果について報告が行われた後、散会。

第二日目（九月五日）

一般質問通告締切

議案熟考のため休会

各会計決算について、原案のとおり認定し閉会。

第九日目（九月十二日）

本会議

上程してある十九議案と報告二件、議員発議三件について審議した結果、原案どおり可決、承認し閉会。

審議された議案

条例

○中泊町水道事業の設置等に関する条例、中泊町水道事業給

水条例の制定

中里町・小泊村両水道事業統合に伴い、中泊町水道事業を設置するもの。

○中泊町個人情報保護条例、政治倫理の確立のための中泊町長の資産等の公開に関する条例の一部改正

郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴い、条文の整備を行うためそれぞれ条例の一部を改正するもの。

補正予算

○平成十九年度中泊町一般会計補正予算第二号

補正額は、歳入歳出とも九千六百八万九千円を追加するもの。

補正する歳出の主なもの、国民健康保険特別会計（事業勘定）繰出金、平山地区担い手育成基盤整備関連流動化促進事業費補助金、中里中学校・小泊中学校教育用コンピューター整備事業費及び財政調整基金積立金の追加、戸籍事務電算化事業費及び介護保険事業特別会計繰出金の減額、並びに人事異動等に伴う職員人件費など、それぞれ所要額を計上。

○平成十九年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算第二号

補正額は歳入歳出とも一千万円を追加するもの。

歳出については、介護予防事業費、介護給付費準備基金積立金及び国庫支出金等過年度分返還金の追加、並びに職員人件費等の減額などを計上。

○平成十九年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算第三号

事業勘定の補正額は、歳入歳出一千二百九十三万六千円を追加するもの。

補正する歳出の主なもの、職員人件費、老人保健医療費拠出金、保険税過年度還付金及び退職者医療交付金返還金

の追加、並びに老人保健事務費拠出金及び介護納付金の減額など所要額を計上。

診療施設勘定の補正額は、歳入歳出とも二百七十三万円を減額するもの。

補正する歳出の主なもの、医科施設管理費の職員人件費の調整及び備品購入費の追加、並びに医科用医薬費の手数料の追加を計上。

○平成十九年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第二号

補正額は、歳入歳出とも四百万九千円を追加するもの。

補正する歳出の主なもの、職員人件費調整額、運営調整基金積立金などを計上。

○平成十九年度中泊町水道事業特別会計補正予算第一号

収益的支出の既決予定額に、職員人件費など六百三十八万六千円を減額するもの。

その他

○負担付きの寄附の受け入れ

町道敷地として使用することを条件とした土地の寄附採納願について、議会の議決を求めるもの。

○つがる西北五広域連合規約の変更

つがる西北五広域連合の処理する事務等に関する規約を変更するもの。

専決処分

○青森県交通災害共済組合規約の変更

地方自治法の一部改正に伴い、青森県交通災害共済組合規約内の職名を変更するもの。

報告

○法人の経営状況報告

地方自治法の規定により、平成十八年度の財団法人小泊うみどりーむ振興公社の経営状況の報告。

発議

○均等待遇の実効あるパートタイム労働法制定を求める意見書

パート・臨時・派遣などで働く非正規労働者は正規職員と比べて賃金・労働条件において大きな格差があり、法的整備や最低賃金の抜本的な見直しが必要となっていることから、法の制定を関係行政庁に要請するもの。

○「町村財政非常事態宣言」決議

国の地方の実情を無視した交付税の大幅な削減などにより、



町村の財政運営はかつてない深刻な状況に直面しており、この事態を打開するため「財政非常事態宣言」を行い、早急かつ抜本的な行財政改革に取り組むため。

○秋田博議員に対する辞職勧告決議

町民の町議会に対する信頼を失墜させた今回の行為に対して、議員辞職を求めるため。

町長提案理由説明

本日、平成十九年第三回中泊町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、公私ご多忙中にもかかわらず出席をいただき、ここに開会できましたことを厚くお礼申し上げます。

今定例会に提出いたしました議案は、専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件のほか、平成十八年度中泊町の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の認定についてなど二十一件であります。その概要を申し上げます。ご審議の参考に供したいと思います。

決算認定

○平成十八年度中泊町一般会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
・事業勘定
・診療施設勘定

○平成十八年度中泊町老人保健事業特別会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町介護保険事業特別会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計歳入歳出決算

○平成十八年度中泊町水道事業特別会計収益的収入支出決算

決算特別委員会

沖崎 勲 委員長



大場 栄 副委員長



九月定例議会に提案された平成十八年度中泊町一般会計及び各会計の決算認定については、議員全員の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、委員長に沖崎勲議員、副委員長に大場栄議員を選任、会期を十日、十一日の二日間と決めた後、議案八議案について審議が行われた。

平成18年度 中泊町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

会計区分	歳入	歳出
1 中泊町一般会計	8,382,201,713	8,354,863,673
2 中泊町国民健康保険特別会計事業勘定	2,282,068,960	2,254,448,353
〃 診療施設勘定	129,717,756	732,513,041
3 中泊町老人保健事業特別会計	1,478,046,033	1,464,501,301
4 中泊町介護保険事業特別会計	1,277,108,124	1,264,608,160
5 中泊町農業集落排水事業特別会計	65,295,845	64,259,623
6 中泊町漁業集落排水事業特別会計	27,992,635	27,545,963
7 中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計	322,187,661	317,178,522
8 中泊町水道事業特別会計(収益的収入支出)	303,352,867	364,317,666

監査委員の
決算審査総括意見



葛西 代表監査委員

審査の結果、平成十八年度中泊町一般会計及び各特別会計について、審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、予算の執行及び関連する事務処理は適正に行われているものと認められた。

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会平成19年第4回定例会は、12月初旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。
平成19年第3回定例会の傍聴者は、7名でした。
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧ください!!

一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

塚本悦子 議員



質問 第1 国民年金滞納の罰則制度について

社会保険庁の不祥事がまだ納まらない。私達の年金は本当に大丈夫なのか、そんな中、国の新制度として国民年金保険料を滞納すると、国民健康保険証を交付せず、短期保険証に切替えるという罰則を適用する国の方針ができました。子育て真最中の若い世帯は町で働く場所も少ない、罰則が適用されれば生活できないと悲鳴をあげています。わが町では、この件についてどう対処する方針ですか。

質問 第2 もったいない条例について

ごみ袋と生ゴミ処理機についてお尋ねします。二〇〇五年に「循環型社会形成推進基本法」が成立し、わが町でも廃棄物とリサイクル対策に取り組んで

います。一般廃棄物小泊処分場は約一年分で満杯になり、いずれ新しい処分場が必要で大変深刻な状態になっています。こうした中、わが町では二〇〇六年に「もったいない条例」を制定、「もったいない町民運動推進会議」を組織し、五つの誓いを全戸に配布して町民一丸となってできる体制は整いましたが、どれ位浸透されていますか。

ごみ袋は他町村より、わが町は百円近く高い。耐久力があれば多少薄くすれば低価格に統一できるのではないか。

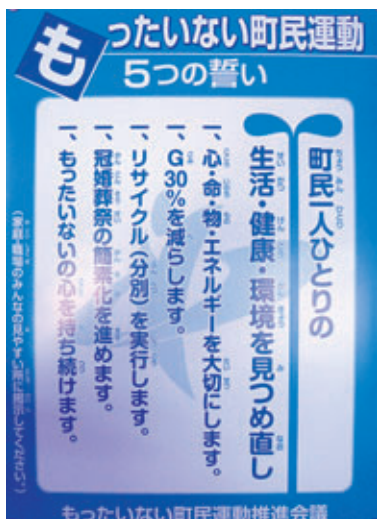
また、燃えるごみの処理に年間一億円もかかる事は非常にもったいないと思います。生ごみを少しでも少なくするために、現在では家庭用生ごみ処理機が販売されていて、有機肥料にもなり一挙両得です。少しでも歳出削減のため、町民に意識を高めさせる方法を考えていただきたいと思えます。

小野町長答弁

私からはもったいない条例の町民への浸透度についてお答えいたします。

合併後の町民の融和を図り、共通の目標を持ったまちづくりを進めるためにも、もったいない条例の趣旨を普及させてまいることは、大きな意義があるものと思えます。このことから、もったいない町民運動推進会議を立ち上げ、会議で承認をいただき、第一弾としてもったいない町民運動5つの誓いのポスターを各家庭及び事業所に配布したところであります。また、この会議において取り組んでいただく具体例を示して、さまざまな活動をお願いしてまいります。

さらに、11月に開催予定のまちづくりフォーラムにおいては、「もったいないを大切に」を主なテーマに、もったいない推進フォーラムとして広く町民の方々に広めてまいるつもりであります。町広報にももったいない運動について掲載し、町民の皆様が自主的に取り組むことができるよう、さらに進んで町民運動へと広がっていくように、より一層の啓発をしてまいります。



もったいない町民運動啓蒙ポスター

小野町民課長答弁

社会保険庁改革関連法案として、先の通常国会で成立しましたが、市町村国保の短期被保険者証発行の要件は明記されておりませんでした。今後、厚生労働省の省令で定めることになっております。

また、短期被保険者証の発行につきましては、義務付ける内容とはなっておりません。実際に発行するかどうかは、市町村独自の判断にゆだねられる見通しがあります。現在わかっている範囲では、対象者は13カ月以上年金保険料未納した者とする方向で検討しているようです。

法律の施行は平成20年4月ですから、今後、国から

情報が入り次第、近隣市町の動向を勘案しながら、理事者と協議の上、適切に対処したいと考えています。

また、特別対策方法としては、社会保険事務所が未納情報を市町村に提供するための情報端末の設置などが検討されているようであり、社会保険事務所との連携を強化し、免除申請などの情報を町の広報に掲載の上、町民への周知を図ってまいります。

成田環境衛生課長答弁

現在、町のごみ指定袋は、中里地域と小泊地域がそれぞれ旧町村の指定袋を使用している現状であり、合併協定書においては合併後3年以内に統合することになっております。今年度中に新しい指定袋を作成する計画であり、町では指定袋を販売委託をしている町商工会と協議を進めている段階です。今後においては、廃棄物減量等推進審議会などの関係者からの意見を参考にしながら、検討させていただきたいと思っております。

家庭の生ごみ処理については現在、生ごみは重量もあることから、西北五環境整備事務組合の負担金にも多大な影響があり、生ごみ出しの水切りをお願いしていますが、なかなか効果が上がっていない状況です。

議員ご提言の、生ごみ処理容器の購入に対する補助金制度は、ごみの減量化を推進し、町民のごみに対する意識の向上が図られると思います。現在、町では行政改革を進めているところであり、補助制度の導入は現在のところ考えておりません。今後は、町民の協力を得ながら、最少の経費で最大の効果を出せるよう工夫した生ごみの減量化に努めたいと思っております。

塚本悦子議員

年金問題は、町民にとって重要で敏感です。町民に優しい思いやりのある対策をお願いします。

ごみ袋は、耐久力のあるものを一日でも早く低価格統一で。そして町の行事等の記念品として贈呈している袋は大変な量です。財政負担の軽減にもなるため低価格統一で販売してほしい。

家庭用生ごみ処理機の補助をお願いしたい。効果がなければ、有料化も考えなければと思いません。

奈良清治 議員



質問 第1 環境整備について

エムス会社前の歩道の未完成はどうなるのか。歩道の切れ目部分の車道に注意標示の黄色線で明記すべきでないか。

質問 第2 自然保護について

大沢内湧きつばまでの通路を、先頃テレビ放映されました白神山地より大きいブナの木、色々自然そのものでした。ただ、残念な事は2、3点あるとのことでした。看板の粗末な事と湧きつばの自然さが無い。ま

たトイレがないとの事でした。今後考えてはどうか。

質問 第3 教育について

中里高等学校をもっと郷土校とするには、入学生の通学面を考え、無料で田茂木〜大沢内〜中里本町通りで中里高校へいけるよう路線を考えるべきでないか。

質問 第4 工事関係(計画・着工・完成)について

六月議会でも質問しました、県・町の工事内容が一部町民より不正工事との事です。答弁では誤解であるとの事、工事に関しては計画、着工、完成等の写真がいつでも見せるようすべきでないか。

質問 第5 観光地宣伝について

日本原燃より「水の国、青森」との紹介がありましたが、中泊では大沢内湧きつば、高根の冷水ッコ、今泉賽の河原の冷水ッコが、昔からあり現在でも飲まれています。

これから、色々な事がらを調べて小泊地区まで観光宣伝すべきでないか。

質問 第6 先人の工芸伝承について

中泊町博物館の分館は今泉、下前にあり、遺跡・民具用具がありますが、職人の技で作った物や建物の進化工程の工作物がなく今後保存すべきであり、一例を

上げますと萱とわらと泥で作った壁、建物、敷物、建具など保存すべきでないか。

質問 第7 その他について

山林道、川等のゴミの不法投棄、総合給食センターは今後議員協議会という事で割愛しますが、子供達に不法投棄の現状を見せ、自然の大切さを知って頂き、また施設整備では植樹は地元産樹を造園業者をお願いし、雪囲いのいらぬよう取り組むべきと思います。また下前の大火災は中里地区には放送、報告だけでもすべきと思う。

成田環境衛生課長答弁

今年度において、処理しなければならない不法投棄



小泊一般廃棄物最終処分場



中里廃棄物処分場

場所に際限がない状態であり、最終処分場の埋め立て作業容量も少なくなっていることから、不法投棄の処理は実施しておりません。

今後の対策としては、ご提言のありました不法投棄されている山林地帯、河川、それから海岸等の担当課、各種団体との連携を図りながら、不法投棄防止の看板設置や広報への掲載による啓発に努めるとともに、廃棄物不法投棄監視委員や地域住民からの情報提供の協力を得ながら、不法投棄防止や撲滅に努めていきたいと考えています。

木村水産観光課長答弁

湧つばの木製枠の整備ですが、製作当時の経緯を調査しましたが確認できませんでした。湧つばは、ため池が満水になると水没し水位が下がるとあらわれる状況から、今後の対応をどのように進めるか、現在周辺の環境の整備に協力されている有志の皆さんに状況をよく聞き、提言されました諸問題に対して、今後の課題として進めていきたいと思えます。

観光地宣伝についてですが、観光地としての各施設を再度点検し、整備を計画的に進めるため、関係機関と協議をして、安心と安全及び癒しをお客様



高根の冷水ッコ



今泉の冷水ッコ

に提供し、多くの観光客を迎えるよう、観光の振興に努めたいと思えます。

ご提言されました冷水と賽の河原の水源及びトイレについては、調査しながら許される範囲内、または県の指定された地域でもありますので、県、その他関係機関にご相談をしながら整備を進めたいと思えます。

藤田教育長答弁

中里高校については、いろいろと私も交流持っています。町内2中学校につきましても、各校長方は中里高校への非常によい印象を持っておりまして、これからも中学校等と話し合いをしまして、いろいろな方法でPRしていきたいと思えます。

その中でも、武田地区の交通手段はどうなのかという点ですが、今検討中ということでありまして、

もう少し時間をいただければと思います。

不法投棄と絡めたいいわゆる体験学習についてですが、いろんな地域での体験学習を行っており、例えば砂防愛ランドの樹木の一生を考えるなど、自然と前向きになって勉強するということは、非常に大事ですので実施してまいりたいと思っています。

先人の技の保存ですが、地域にある伝統芸能あるいは文化財の保存、継承することは非常に大事なことだと考えています。こういう伝統的なものを町民に理解を深めていくため、伝統芸能等の紹介や発表の場を提供しています。

泥壁の民家や蔵がどんどん解体されてきています。博物館の企画展では、竹田地区の軌跡や暮らしの様子等を写真で紹介したり、民間では「フォトグループ葦」の写真展では、蔵の解体を順序よく紹介しています。今後関係者と十分相談しながら、ご提言を生かしたいと思っています。

横山建設課長答弁

パルナス通りの歩道整備については、ご指摘のとおりであります。地権者との合意に達しないまま今日に至っており、町民の皆様には大変ご不便をおかけしております。おわびいたします。現状でどのような安全対策がとれるのか、早速検討したいと思っております。

次に、工事関係についてのご質問ですが、道路や側溝などの工事は、町民の生活に直結したインフラ整備でありますので、疑惑を持たれるような工事は絶対にしてはならないことです。もし町民から工事に対する苦情あるいは疑義の申し立てがあった場合は誠意を持つ

て説明し、理解が得られるよう対応したいと思っております。ただ、工事完了後、相当年数が至ったものについては、関係資料のないものもありますので、ご理解いただきたいと思っております。

赤石管理課長答弁

現在火災発生の情報は、各地域の消防署で防災行政用無線を利用して住民に情報を提供しております。小泊消防署での防災行政用無線システムは、火災発生の場合、中里地域には放送されません。また、中里消防署での防災行政用無線のシステムは、小泊地域には放送されません。ただし、緊急ボタンを押すと、中泊町全体に放送される仕組みになっております。議員ご指摘のように、中里地域あるいは小泊地域全体に火災発生の情報を放送するとすれば、中里消防署で放送することになります。その中で昼夜問わず放送すれば、真夜中での放送は住民から苦情が寄せられる可能性があり、現に苦情が寄せられた経緯があると聞いております。したがって、それらを踏まえ、今後開催される小泊地域審議会、または地域懇談会で住民の方々に相談したいと思っております。

なお、小泊消防署では、五所川原地区消防事務組合管内で火災が発生し、応援要請でサイレンを鳴らして出動した場合、昼夜問わず住民に情報を放送することとしておりますが、真夜中での放送に苦情が出た場合は、検討することになっております。

青山雅晴 議員



質問 第1 今春、中泊町出身の方が県副知事に就任したことについて

今春、中泊町出身の方が県の副知事に就任しました。中泊町の名誉であり、住民の一人として誇りに思っております。そこで、町では祝賀会とか、何らかのことを考えているのか伺います。

小野町長答弁

青山祐治氏の副知事就任は、我が町にとって非常に名誉なことであり、遅ればせながら、町を代表いたしましてお祝い申し上げます。

青山氏は、若いころから県の要職についており、いずれは大きなポストに納まるものと思っております。これも青山氏の行政手腕の見事さと人柄のすばらしさによるものであり、今後は健康にご留意され、三村知事のもと、県勢発展のためにご尽力くださいますようご期待申し上げます。

我が中泊町では、本年4月まで成田一憲氏が県議会議長を務められ、それを引き継ぐかのように副知事が誕生したことから、県政との絆が一層強くなったものとうれしく思います。

さて、ただいまご質問の祝賀会の件であります。私も町を挙げて実施したいと思っておりますが、本人の意向も確かめないといけないことですので、一日も早い機会にお会いし、ご意向を確認したいと思っております。

青山雅晴議員

町長から大変ご理解のある意見を申し上げられましたが、地域住民の方からも町で何か祝いしてくれないものかと強く言われております。本人が遠慮しているようですが、ぜひ副知事にご理解をいただいで、祝賀会が開催できることを望んで質問を終わります。

川山光則 議員



質問 第1 パルナスの管理について

現在のパルナスには、ホールの他に教育委員会、博物館、図書館等数多く入っています。しかし、残念なことには4時半になると博物館と図書館が終わり、仕事が終わってから利用したい人には、大変不便でしょう。原因は役所管理だからだと思います。また、施設の管理に職員が何人配置されているのか考えると、今後町として職員数を少なくするためにも、指定管理者に移行したらよいのではないかと考えますが、理事者の考えを伺います。



総合文化センター「パルナス」



質問 第2 津軽沢の水について

当初、津軽沢の牛舎は数件の方々で利用していたのですが、牛肉が安く商売にならないとのことで撤退して、現在は2軒で利用しています。

近年、牛肉も高くなり牛舎もすべて利用するようになりましたが、当初より水の量がかなり少なくなり、水質も悪くなっているとの事です。上質の牛を育てるには、水質がよくなければならないとのことです。ぜひ、今後の対策をお願いします。

質問 第3 空き家対策について

現在、町内に数年以上使用されていないような空き家が非常に目立ってきました。また数ヶ月前に今泉で

使われていない家から火災が発生したと新聞で読みました。こういう空き家をそのまま放置していると、環境や治安に非常に悪影響を及ぼします。国の力を借りながら、対策をとってほしいと思います。

私の考えでは空き家を町に土地付で寄附してもらいたい。家を処理した後、土地を売却したらと思いますが当局の考えを伺います。

小野町長答弁

まず、空き家と言われる数でございますが、これを専門に調査したデータがないため、実数の把握が難しいのですが、税務課の固定資産税が課税されているものうち、家屋が町内にあり、所有者が町外にいる数が約300件ありますので、その程度が空き家になっているものと思われま

す。議員ご質問のように、確かに8月の15日の火災は、空き家の状態から火災が発生したものであります。また、これまでも老朽化した空き家が強風などにより一部が破損し、消防団が出勤し、応急的に修繕を実施した事例なども数件ございます。過疎化や高齢化が進んでいる当町においては、これからますます空き家が増えることが予想されますが、その対策については、これといった方策がなく、対応に苦慮しているのが実態でございます。これから先進事例等を参考にしながら、町の対策を検討してまいります。

熊木 社会教育課長答弁

中泊町総合文化センターパルナス内には、文化ホール、博物館、図書館が併設され、また教育委員会の事務室も置かれております。現在の管理体制は、それぞれ専任の職員を配置し、施設の管理、事業展開を行っています。

ご質問のパルナスに指定管理者制度を導入することは可能であり、そのことで住民サービスが向上する点はあるかと思えます。しかし、博物館及び図書館については、住民サービスに不可欠な専門性の確保が必要であることから、学芸員及び司書補を配置しております。

また、文化ホール及び施設全体の管理については、施設の貸出し及び維持管理であります。現在町の職員



博物館



図書館

を配置し、業務の一部委託により管理できる状況でありますので、当面は町が管理することになると思えます。

今後は、職員数の適正化や行財政改革を進めるに当たって、パルナスをはじめ、ほかの施設についても指定管理者制度の導入を図る時期が来ると思えますので、ご理解いただきます。

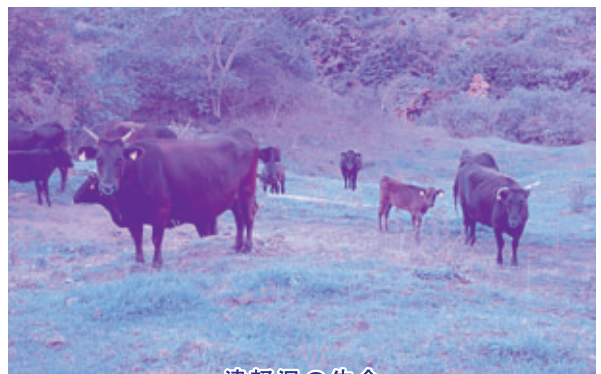
川島 農政課長答弁

津軽沢の水についての質問にお答えします。現在、津軽沢地域では、牛舎等6棟の施設が牧野組合に管理を委託している状況です。

津軽沢の水をポンプアップして最大飼育時には77頭の牛を飼育している状況にあります。牛舎等は、昭和61年62年に建築されたものであって、もう20年以上経過しています。

牛舎における水の不足の原因は、議員ご指摘のとおり配水管の腐食、あるいはポンプの容量不足等による影響があるかと思えます。

牛舎の管理規定においては、維持管理費用は受託管理者が原則として負担するというようなことになっておりますので、受託管理者と相談して対応を講じたいと考えております。



津軽沢の牛舎



荒関 富雄 議員

質問 第1 保育所負担金未納について

私からは、保育所の負担金未納についてであります。これを最初知ったのは、東奥日報の新聞報道でありまして、まさか我が町ではこの保育料の未納などというものは無いのではないかと、そういうふうにご考えておられたわけですが、本年度の決算書が渡されまして、私は1年生でありますので、初めて見ましたら、未収



金のトータルが1,222万5,020円になっており
ました。こんなに財政が厳しいときに、保育料の未収
金がどうして溜まったのだろうかというのが質問の趣旨
であります。

なぜこのように未収金がどんどん蓄積されていった
のか。それには、いろんな社会情勢があつてそうなつ
たのか、また職員の怠慢で全然収納しないのかと。

それで調べましたところ、今年度の決算書には、過
年度分5万6,000円は入っております。1,20
0万に対して5万6,000円の徴収では、本当に徴
収する気あるのか、また何か支障があつて各家庭の財
政事情の中で、また町が面倒見なければならない問題
があるのか。それは、もしこのまま放置しますと、財
政にはもちろんであります、何らかの不公平感が定
着しますと、これから大変な問題になると思ひますの
で、よろしくご配慮のほどご答弁をお願いして、質問
を終わらせていただきます。

小野町長答弁

保育所負担金未納について、確かに議員ご指摘のよ
うに、決算書に1,221万5,020円の収入未済額
がございます。このことは、先般厚生労働省が実施し
た平成18年度の保育料滞納状況調査の新聞報道があり
ました。県内はもとより、全国的にこのような状況に
あると聞いております。また、保育所の負担金を納め
ないことを理由に入所児童を保育所から退所させるこ
とは、違法である旨も報じられておりました。こうい
うことを逆手にとって、負担金の未納者も出てくるこ
とも懸念されます。

そこで、今後は地方税の滞納処分の例による処分も
可能なことから、関係方面とよく協議をし、最終的に
はそのことも考慮しながら、保護者への理解を求め、
不平等感を抱かれないように進めてまいります。

浪内福祉課長答弁

保育料は、毎月25日までに納付しなければならぬ
ものであります。納付がなされなかったときには、督
促状の発送や保護者へ電話催告などをして、お願いす
るのが一般的な事務の進め方です。

ここ9年をさかのぼって調査したところ、一部の期
間に事務の不備があり、心からおわび申し上げます。
誠に申しわけありませんでした。

荒関富雄議員

先ほど町長の答弁では、いろん
な措置をするということは、税と
同じ感覚で不能欠損していくのか。
理解はできませんが、合併前までは
小泊地区では未納がなかった。中
里地区は10年の場合は1件であり
ながら、合併時には17件も件数残つ
ていたと。結局こういうのは小さ
いうちに措置していかないと、蓄
積されて1,200万というよう
な額になってしまふ。財政上は不
納欠損で済むが、なぜそういう未
納が出たのか。その家庭に問題が

あるのであれば、優しい対策も必要でしょう、そうで
なければ、当然行政というものはサービスの提供があつ
て、それに対しては対価を払っていくのだと、この
基本姿勢をしっかりと踏まえていかなければ、これから
の財政運営上もまだまだいろんな問題が出てくると思
いますので、今後の対策に生かしていただければと思
います。



中里保育所



小泊保育所

民生文教常任委員会 (秋元啓志 委員長)

8月17日 (金)

〈案 件〉

- 国に対し、特定健診・特定保健指導を国の責任において実施するよう求める意見書の提出を求める陳情書
- 後期高齢者医療制度創設にあたり患者本位の医療実施を求める陳情書
- 均等待遇の実行あるパートタイム労働法制定を求める陳情書
- その他

議会運営委員会 (米塚慎一 委員長)

8月24日 (金)

〈案 件〉

- 平成19年第2回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 決算特別委員会の設置について
- 陳情書の審査結果及び新たに受理した陳情等の取扱いについて
- その他



委員会だより

11日	9日	7日	5日	2日	1日	31日	29日	26日	25日	18日	17日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	6日	5日	3日	2日	
なかどまりまつり	西北五広域福祉事務組合議会定例会	屏風山内真部線期成同盟会	津軽地区小学生卓球選手権大会	例月出納検査	例月出納検査	西北津軽郡町議会議長会第1回協議会	参議院議員選挙投票日	公立金木病院議定会定例会	津軽鉄道安全祈願祭 第3回中泊町「健やか少年野球大会」	財政援助団体監査	決算監査	RABビーチサッカーinn(こどまり)	RABビーチサッカーinn(こどまり)	全中相撲選手権大会県予選会祝賀会	県下町村議会議員研修会	決算監査	決算監査	決算監査	決算監査	決算監査	決算監査	決算監査	決算監査
28日	26日	25日	23日	22日	17日	12日	11日	10日	7日	4日	2日	31日	30日	28日	26日	24日	18日	17日	15日	14日	12日		
西北津軽郡町議会議長会第2回協議会	例月出納検査	例月出納検査	MOA美術館児童作品展表彰式	弘前駐屯地記念式典	全国スポーツレクリエーション祭開会式	中泊町敬老会	本会議 単行案審議・採決・閉会	決算特別委員会(一般会計)	本会議 一般質問	第3回中泊町議定会定例会開会	青森県・北海道小中学校相撲中泊大会	例月出納検査	例月出納検査	全国町村議会シンポジウム	中泊町消防団観閲式	北五地区農業委員会	議会運営委員会	第10回ピュア夏祭り歌謡大会	議員全員協議会	民生文教常任委員会	ことまり権現まつり	中泊町成人式	ことまり権現まつり

議会の動き